

受付番号：580

血管造影検査（カテーテル検査）を受けられた患者様へ

脳血管と下肢動脈の関連性に関する研究
に関するデータ使用のお願い

平成 21 年 12 月 1 日
川崎医科大学附属病院
脳卒中科 渡邊 雅男

脳梗塞は脳の血管が詰まる病気ですが、その原因の一つに脳血管の動脈硬化があります。動脈硬化は全身の病気であり、脳の血管だけが動脈硬化を起こすということは少なく、心臓の血管や足の血管にも動脈硬化が見られることが多々見られます。

足の血管の動脈硬化があると、歩いているときに足が痛くなったり、だるくなったりすることがありますが、このような症状がある人は心臓の血管にも動脈硬化があることが今までの研究で明らかになっております。しかし、脳の血管の動脈硬化と足の血管の動脈硬化との関係は、まだ詳しく分かっていません。この度、脳の動脈硬化と足の動脈硬化との関係を科学的に証明するために、患者様の診療データを用いた臨床研究をさせていただきました。

具体的には、2006年7月1日から2007年7月31日までに脳の血管造影（カテーテル検査）を受けていただいた患者様に足の造影検査を行い、血管造影検査の後に超音波検査と手・足の血圧測定を行い、動脈硬化の程度を検査させていただきました。実際の検査を受けていただく前に「同意書」という形で同意を頂いておりますが、今回、診療で得られたデータをまとめ、論文として報告し、医学雑誌に投稿させて頂くことになりました。つきましては、診療で得られたデータを研究に使用する事にご理解とご協力を賜りたく存じます。皆様方の個人名や個人を特定できるようなデータが公表されることは一切ありません。

この研究に対して、ご質問があるかたは、下記担当者までご連絡ください。

担当 渡邊 雅男（川崎医科大学 脳卒中医学 講師）
電話番号 086-462-1111（代）
FAX 086-462-1199